

しみずの教育

ちよつといい話

【平成30年12月号】

清水小学校

校長 高井正樹

小樽・札幌で学ぶ



北海道胆振東部地震のため、延期になっていた6年生の修学旅行ですが、ついにその日がやって来ました！7日（水）～8日（木）、小樽・札幌方面へ一泊二日の思い出づくりに出かけました。小樽でのもの作り体験や運河周辺の散策、水族館のバックヤードツアーやイルカショー、豪華なホテルでのバイキング料理やプールでの遊び、札幌市内をグループで巡った自主研修……。待ちに待った修学旅行は、「え～、もう清水

に着いちゃったの～」と、子どもたちが残念がるくらい充実した最高の2日間となりました。

シェフに学ぶ

北海道ホテルの総料理長工藤一幸さんを迎え、5年生を対象とした「シェフに学ぶ！十勝の美味しい大豆料理」の特別授業が行われました。「大豆ハンバーグと大根の煮込み」と「じゃがいもと大豆のクリーム煮」の2つの料理を、工藤シェフが子どもたちの目の前で作ってくれました。その見事な手さばきに子どもたちの目は真ん丸！その後、工藤シェフの手ほどきを受けながら、子どもたちが同じ料理に挑戦。料理の楽しさと十勝の食材のおいしさをたっぷり味わうことができました。



清水高生に学ぶ



9月5日（水）から3日間行われる予定だった清水高校のインターンシップ。丁度この時、胆振東部地震が発生したため、1日しか行うことができませんでした。そこで先週、3人の生徒が再び学校を訪れ、残りの2日間を2年生の教室で体験しました。インターンシップを終えた生徒たちは、子どもたちと過ごした時間を振り返り、「とても楽しく、充実していた」「今後の自分の進路に生かしていきたい」と話していました。いつか教師として学校に戻ってきてくれると嬉しいですね。

曾田選手に学ぶ

11月20日（火）、元コンソドーレ札幌のディフェンダー曾田雄志さんが来校し、5・6年生に「心に響く道徳教育」の授業をしてくださいました。はじめに、曾田さんが現役時代に出場した試合のDVDを見て、その後『夢の叶え方』について講話をしてくださいまし

た。子どもたちは、ユーモアを交えた曾田さんのお話に聞き入り、最後は児童会長の砂田さんがお礼を述べ、一緒に記念写真を撮りました。サッカー界のヒーローに、サインをおねだりする子もいました。



御影小学校

笑顔と感動！最高の仲間とともに

校長 真下 正 則

今年も残すところわずかとなりました。一番長い2学期ですが、ゴールが見えてきました。

さて、11月10日（土）に行った第102回目の学習発表会ですが、三澤教育長様を始め、ご来賓の皆様、たくさんの保護者・地域の皆様に、子どもたち一人一人の一生懸命発表する姿を観ていただきました。

子どもたちが事前に書いた『見所の紹介』『意気込み』等が、学級通信等に掲載していましたが、当日いかがだったでしょうか。きっと家に帰ってから、学習発表会の出



学習発表会より（6年 演劇）

来映えについて、いろいろと会話が交わされたことと思います。

さて、12月に入りますと、あっという間に日にちが経過します。しっかりと2学期のまとめを頑張っていきましょう。

また、今年の本格的なスケートシーズンに向けて、11月16日（金）にリンクの設計を行い、21日（水）にスケートリンク造成会総会が行われました。

今年も授業で使用するリンクの造成に関わって、関係の皆様大変お世話になります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



学習発表会より（2年 演劇）

休み時間、子どもたちの外での活動から！

今年は、例年になく初雪が遅くなりました。気温も高い日が続き、子どもたちが休み時間に外で遊ぶ機会も多くありました。子どもたちの休み時間の表情は、いつも生き生きしています。

左の写真は、1年生の女子が校舎前の木のところで、『プリンセスごっこ』（女の子達の話）をしている場面です。右の写真は、3年生が休み時間を使って、理科の『かげと太陽』について調べている場面です。

自分達で工夫し、仲良く活動していました。



清水中学校

暖冬と言われたこの冬ですが、ようやく十勝の大地にも一面に真っ白い雪が舞い降りてきました。本校生徒もこの雪を見て子ども心をくすぐられたようで休み時間には、元気に『雪合戦』をする姿が見られました。ALTのトレバーさんも生徒と一緒に雪合戦に参加してくれました。風邪を引かないようにと願うばかりです。また、登下校も心配です。生徒にはくれぐれも無理をせず、しっかりと左右を確認して道路を横断するよう指導しています。

しかし、降雪があると大変なのが除雪です。15cm位降ったのでしょうか。しかも風も強く所々に吹きだまりもできていました。そんな中、放課後にいち早く活躍してくれたのがサッカー部でした。西側階段から生徒玄関前、職員玄関前と強風にも負けず除雪道具を持って、まさに「チームワーク」で一糸懸命に取り組んでくれました。この日はちょうど参観日でしたから、生徒はもちろん保護者の方も雪に足を取られ転んでけがをしたりしないように、といった優しさが伝わってきます。誰かに直接何かをするだけでなく、こうした心遣いができる生徒たちを本当に誇りに思います。この良さを本校の伝統として後輩たちは連綿と引き継いでほしいものです。



(教頭 須藤 正博)

御影中学校

校長 塚原 雄二

働くことの意義や大切さを学ぶ

10月17日(水)に2学年の生徒が清水町内の各事業所で職場体験学習を行いました。体験する目的は、「働くことの意義や大切さ」を学ぶことです。自分の適性や長所を振り返り、礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返ることができるようにすることもねらいの一つです。

生徒の皆さんは、仕事の楽しさ、難しさ等を感じながらも、とてもよい表情で体験学習を行うことができました。生徒のために学習の場の提供とご指導を頂いた清水町内の各事業所の皆様に心から感謝申し上げます。

【2学年職業体験学習から】



【以下、清水町各受け入れ事業所と生徒の感想です】

- フクハラ 日付の新しいものと古いものの順番を変えたり、きちんと並べることに気を付けている。笑顔で接し、明るく振舞うとお客さんも嫌な気持ちにならない。
- えびすや ケーキを作るのは、分量が大事でさらにスピードも求められ大変でした。何回も練習しないとできるようにはならない。
- 赤十字 手をライトで見ると白く光っているところがあり、それは汚れで一番汚いのが爪だった。石鹸をつけてきちんと洗ってみると汚れが取れていた。患者さんとの会話の難しさがわかった。仲間とコミュニケーションを取り患者さんに楽に検査を受けてもらう。
- マルマス かぼちゃのへたとりは思っていたよりも力を使いました。
- 消防署 火事の時にホースを使いやすくするために、きれいにまくことがとても大切だと知りました。
- 保育所 保育士さん達はとても手慣れており、すごかった。
- そば処三品 食器洗いが何度もあって大変だったけど、この作業を毎日している人は本当にすごいと思った
- 食彩館 柿をラップで包むのはとても難しかった。従業員皆が仲良しなので食彩館の雰囲気がとてもよいなと感じました。
- 図書館 郷土資料の収集の仕事が一番大変でした。普段は見ることのできない仕事を体験することができた
- シンデレラ 美容師は常に立ちっぱなしの仕事で店長さんは長年やっていると立っていても大丈夫と言って、とてもすごい人だと思いました。
- 御影セルフ 機械の使い方やタイヤ交換、接客の対応など詳しく教えてくれた。ホイール交換の仕方がとても難しかった。
- セブンイレブン 店員として気を付けなければならないことは「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」を言うことです。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」は接客業をする上では重要なことだと知った。

清水高等学校

校長 平野道雄

「スタディサプリ活用先進校」として表彰

本校は、先日、株式会社リクルートマーケティングパートナーズから「スタディサプリ活用先進校」として記念品が贈呈されました。

「スタディサプリ」はインターネットを通じた学習支援アプリケーションで、清水高校では3年前からこのアプリを推奨し、清水高校振興会から年間利用料の半額補助を受け、選抜性の高い進路を目指す「進路チャレンジクラス」



の生徒を中心に、現在は1～3年次生約100名の生徒が活用しています。

リクルートの担当者によると、本アプリは全国1000校以上で利用されていますが、宿題配信機能において、複数の先生や平均週1回以上の配信などを観点に、今回約200校を先進校として選出したそうです。中でも清水高校は、先生が配信した宿題への生徒の取組率も全国でトップ10に入っており、その取組は注目されているとのことでした。

担当の餌取教諭は、「先生だけではなく、生徒の頑張りが評価され大変うれしい。こうしたアプリなども含めたICTの活用により生徒の学習意欲を一層高め、進路実現につなげていきたい」と語っています。

青少年読書感想文全道コンクールで優秀賞を受賞

北海道学校図書館協会が主催する第64回青少年読書感想文全道コンクールの高等学校の部で、1年次生の五十嵐唯翔さん（御影出身）が優秀賞を受賞しました。高校生では、特別賞と優秀賞とを合わせて約20名が受賞しましたが、そのうちの一人です。

受賞した感想文は「人は変わる」と題し、アドラー心理学を基にした『嫌われる勇氣』という本を題材に書かれました。過去のトラウマにとらわれることは自分から逃げているだけで、人は知らず知らずのうちに今の状況が変わらないことを望んでいる、そのことを理解しているだけで人はすぐに変わる、という内容です。自分に必要なものだけを選択し、人生をより良くすることが大切だということです。五十嵐さんはこの本から学んだことを、アイスホッケー部での活動をとおして実践していきたいとのことでした。



十勝管内「北海道学び推進月間」標語が入賞

北海道教育委員会では、「確かな学力」の向上を目指すため、学力向上の各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進する「北海道学び推進月間」として、毎年4月と11月を定めています。

その推進月間の活動の一環として、道内の小中学校、高校、特別支援学校から標語を募集し、最優秀賞、優秀賞、奨励賞が選ばれます。

今年度は、本校3年次生が応募した標語のうち、優秀賞として大橋一晴さん（道外出身）、奨励賞として奥田愛友さん（清水出身）と山本拓真さん（帯広出身）の作品が、十勝管内の

19点の入賞作品の中に選ばれ、近々、十勝教育局より表彰されることになりました。



第41回発表会で大きく成長



11月11日(日)の発表会には、多くの保護者の皆様やおじいちゃん、おばあちゃん、そして、地域の方々にいらしていただき盛会裏に終えることができました。ありがとうございました。遊戯・楽器遊び・運動遊びなど、子どもたちのもついろいろな力の発揮に向け、少し高い目標を設定し、無理のない頑張りを目指しました。毎日成長している子どもの発表会当日までの姿を見ていただきました。できなかったこともその後の努力でクリアしたことがたくさんあります。

できるまでの自分の努力と友達の励ましをエネルギーにして臨んだ子どもたちに、家族の皆様の声援が何よりの称賛さんとなり、また一つ成長したように思います。

子どもたちに感想を聞くと、やはり「上手だったよ」「頑張ったね」「楽しかったよ」などの家族の言葉が一番うれしかったようです。

お店屋さんごっこの練習に参加・・・参観日

春からいろいろな場面で年齢に合わせた交流を行ってきました。秋を迎え本格的な異年齢交流として、今年も「お店屋さんごっこ」に取り組みました。今年は子どもたちのお店屋さんごっこの様子を実際に見ていただくために、参観日を利用し、お父さんお母さんにお客さんになっていただきました。子どもたちの制作した力作の商品とかわいい店員スタイルに買うのも忘れて、写真撮影されていました。

お店屋さん当日は、製作品販売と運動あそびの2種類を3グループが行いました。



【参観日の様子】



【お店屋さんごっこの様子】



しみず「教育の四季」子どもフォーラム

スマホ・ゲームについて考える

11月27日（火）、清水町文化センターで第12回“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”を開催しました。

町内の小・中・高5校の児童会・生徒会役員、教職員、PTA 役員、行政、町民など約70名が参加しました。

各学校の児童会・生徒会が、しみず「教育の四季」の取組を発表し、その後、清水高校生徒会長牧野菜奈さんの司会で「スマホ・ゲームについて考える」をテーマに意見交流を行いました。

清水町の子どもたちも動画やゲーム、スマホ、SNS 等にかける時間が多いことから、それらに対してどのような考えを持っているか、適切な時間はどれくらいか、使用時間のルールは必要か等について話し合われました。児童・生徒からは、率直な意見が出されていました。

最後に、牧野さんから、規則正しい生活のリズムを付ける上で、障害となっているゲーム・スマホ等の使用について、今一度、しっかりと見直すこと。その一つとして「しみずソーシャルメディアガイドライン」をもとに、家族でスマホ等の使用の決まりについて話し合うことが大切であることが述べられました。



（教育指導幹 清水彦一）



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

冬～厳しさに生きる人の中で きたえ磨く

家庭・学校・地域
今月の取組
家庭は、みんな揃って
楽しい回らん
地域は、向こう三軒
みんな家族